

第3回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成23年9月22日(木) 10時～11時20分
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 江原武一委員、仲川順子委員、前原金一委員
長友学長、中谷理事(教育)、宮崎理事(総務)、生田副学長(企画)、佐野副学長(研究)
陪席者 鷺山理事、藤巻監事、加藤副学長(地域連携・国際交流)

4. 議 題

◎審議事項

◎報告事項

- 1 10月以降の体制について
- 2 平成23年度予備費(第一次)の執行の配分について(案)(資料1)
- 3 平成24年度予算の概算要求に係る作業について(資料2)
- 4 教育研究特別整備費について(資料3)
- 5 法人評価ヒアリングについて(資料4)
- 6 台風12号による奥吉野実習林被害状況について(資料5)
- 7 教育復興支援ボランティアについて(資料6)

◎その他

5. 議 事

◎報告事項

- 1 10月以降の体制について
学長から、10月以降の体制について、以下のとおり報告があった。
○理事
[教育担当]生田周二(新任)、[総務担当]宮崎秀生(再任)、[渉外・連携担当]鷺山恭彦(再任)
○副学長
[教育担当]生田周二(新任)、[企画担当]伊豆蔵好美(新任)、[国際交流・地域連携担当]加藤久雄(再任)
○学長補佐
[就職担当]宮下准教授(新任)、[入試担当]和田准教授(再任)、[教育課程担当]今准教授(新任)、[地域連携担当]高橋教授(新任)、[評価担当]伊藤直治教授(新任)、[国際交流担当]頓宮教授(再任)
- 2 平成23年度予備費(第一次)の執行の配分について(案)(資料1)
総務担当理事、会計課長から、資料1に基づき、平成23年度予備費(第一次)の執行配分について、報告があった。
- 3 平成24年度予算の概算要求に係る作業について(資料2)
総務担当理事、会計課長から、資料2に基づき、平成24年度予算の概算要求に係る作業について、報告があった。
- 4 教育研究特別整備費について(資料3)
学長から、資料3に基づき、三大学連携による双方向授業のための準備作業について報告があっ

た。

主な意見は以下のとおり。

- eラーニングについて、教室と教室を繋いでも意味が無い。各自自分のパソコンからアクセス出来ることが重要。また国際交流連携校等、他国の大学と接続出来るシステムを構築すると教育効果が上がるのではないか。
- ICTの活用能力について、学生より大学教員の方が能力が劣るケースが間々見受けられる。
- 経費節減効果について現時点の見込みは。
→SD研修に使用。施設の共同管理を行う。その他経営に関することについて、今後検討を行っていききたい。
- eラーニングは教育の仕組みとしては素晴らしいが、情報モラルについて配慮が求められる。
- システムを新規で構築すると費用が嵩む。既存のシステムを購入する等、工夫が必要。
- 過疎地の教育レベル・アップが期待出来るのではないか。効果について研究して頂きたい。

5 法人評価ヒアリングについて（資料4）

総務担当理事から、資料4に基づき、8月17日に文科省で行われた法人評価ヒアリングの内容について報告があった。

6 台風12号による奥吉野実習林被害状況について（資料5）

会計課長から、資料5に基づき、台風12号による奥吉野実習林被害状況と、五條市に対し救援物資を搬送した旨の報告があった。

7 教育復興支援ボランティアについて（資料6）

国際交流・地域連携担当副学長から、資料6に基づき、被災地の学校等に対し、復興支援ボランティアとして参加した本学学生数等について報告があった。

主な意見は以下のとおり。

- 公益社団法人経済同友会は、賛同頂ける企業から寄付金を集め、今後5年ぐらい各県の実務学校（農業、林業、水産業、工業、高専、大学）で地域の復興の為にを行うプロジェクトに対し、現物の寄付を行う。12月に第1回目として、バス4台、旋盤、調理器具の贈呈を行う予定。
今後も、毎年5億～10億程度の寄付を募り、配っていきたいと考えている。宮城教育大学で必要な物があれば、仙台の公益社団法人経済同友会に県を通じて申し出てもらえれば。
- 奈良NPOセンターは、奈良県と協力し、災害ネットワークを稼働している。地域連携の中で支援していければと考えている。
今後、復興支援研修を無料で6回開催予定。奈良教育大学も大いに利用して頂きたい。
- さわやか街づくり財団は、学び（学校）、癒し（病院）、祈り（神社）を街づくりの基本として復興支援を行っている。復興の参考として頂きたい。